

DS-01AN

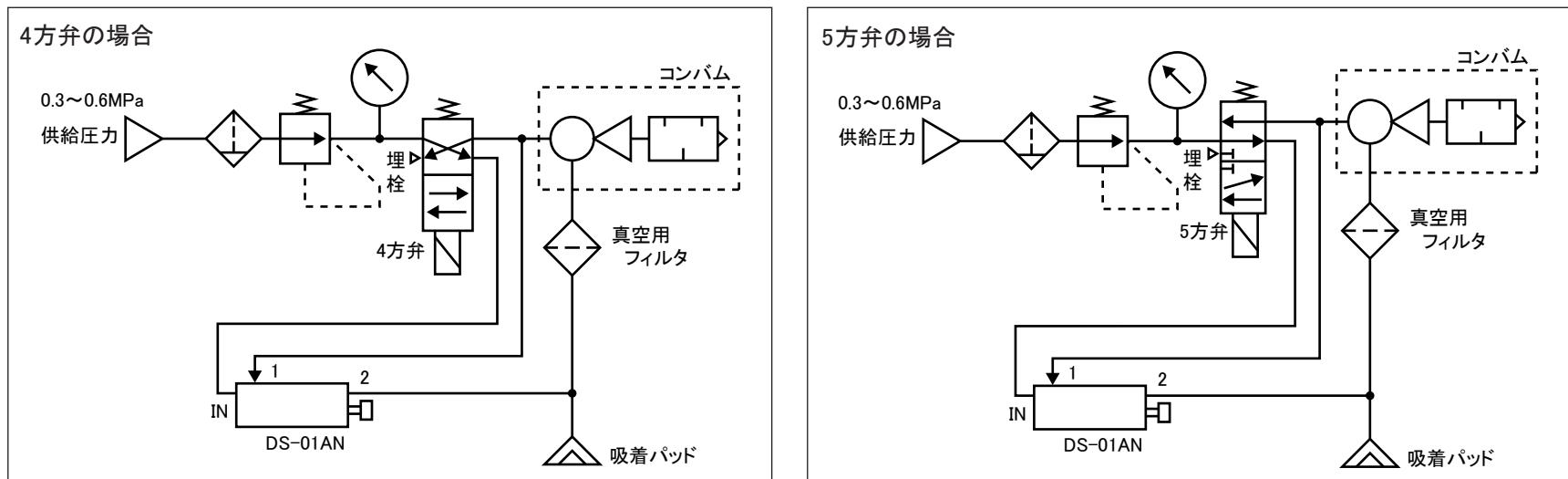
真空破壊バルブ取扱説明書

この度は、DS-01AN真空破壊バルブをお買上げいただき有難うございました。
今後とも何卒よろしくご愛顧の程お願い申し上げます。

ご使用前に説明書を必ずご一読下さい。
又、本書は大切に保管して下さい。

⚠ 注意

- ①元圧が大幅に変動すると吹き出し時間も変動しますので、元圧は常に一定にして下さい。
- ②吹き出し時間調整ツマミは右へ回すと吹き出し時間が長くなります。吹き出し時間はワークに合わせて最適に設定し、無理に締め過ぎたり、又ゆるめすぎたりしないようにご注意下さい。
- ③構造上、吸引前に若干空気を吹き出しがあります（前吹き）。通常は問題になりませんが、前吹きにより吸着できないこともあります。この場合、破壊バルブとパットの間の配管にスピードコントローラをつけることによって、前吹きを減らすことができます。
- ④3方弁の場合は、振り分け3方弁を使用して下さい。単動エアシリンダ駆動用電磁弁を使用するとエア漏れを起こす場合があります。
- ⑤4方弁・5方弁の場合は下図のようにEXT(排気口)ポートを埋栓処理して下さい。真空発生時にDS-01ANの「IN」(供給口)ポートと「2」ポートはつながり、電磁弁によってはエア漏れを起こす場合があります。
- ⑥マニホールド電磁弁は使用できません。4方弁、5方弁を使用する場合、マニホールドベースのEXT(排気口)ポートを埋栓するため他の機器の動作に悪影響を及ぼすことがあります。
- ⑦電磁弁のシール方法によるエア漏れについては、電磁弁メーカーと相談して下さい。
- ⑧オリフィス径 $\phi 3.0$ 以上の電磁弁を使用して下さい。DS-01ANはIN(供給口)ポートより入った圧縮空気が、2ポートより流れ出て破壊エアとなります。又、この圧縮空気を利用して内部のピストンを動かしますが、この時INポートに入る圧縮空気が160L/min(ANR)以下の場合、ピストンを完全に動作させることができず、破壊エアが止まらなくなります。オリフィス径が $\phi 3.0$ 以上であっても、配管の太さや長さによっては充分なエア流量を確保できない場合、同様な不具合が発生するので注意が必要です。

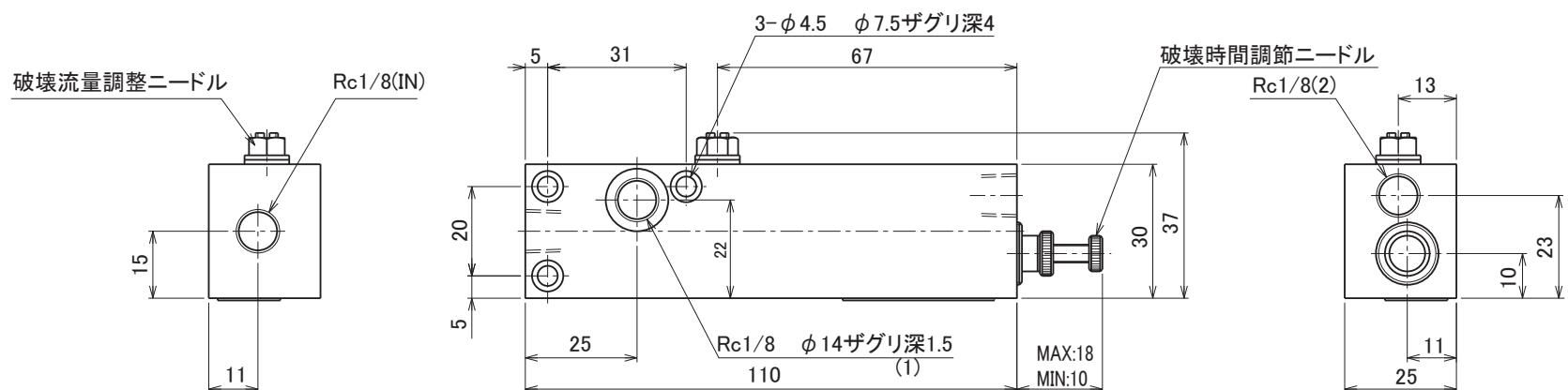


※推奨電磁弁 CKD製:3PA210 又は 3PB210

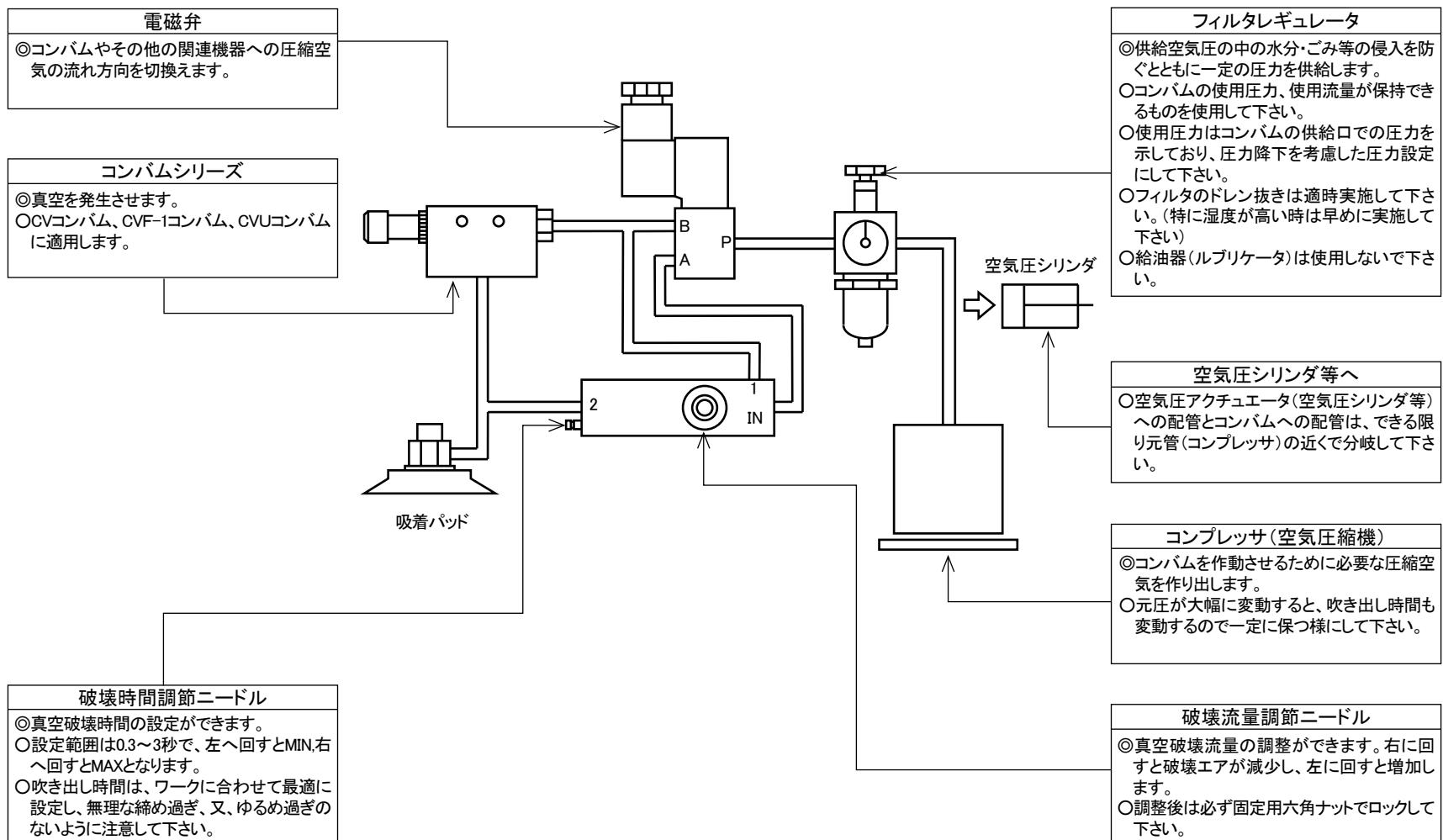
■仕様

耐圧 (MPa)	0.7以下
使用圧力範囲 (MPa)	0.3~0.6
吹き出し時間調整範囲	0.3~3秒
真空破壊流量 [L/min(ANR)]	max.160
使用温度範囲 (°C)	5~60

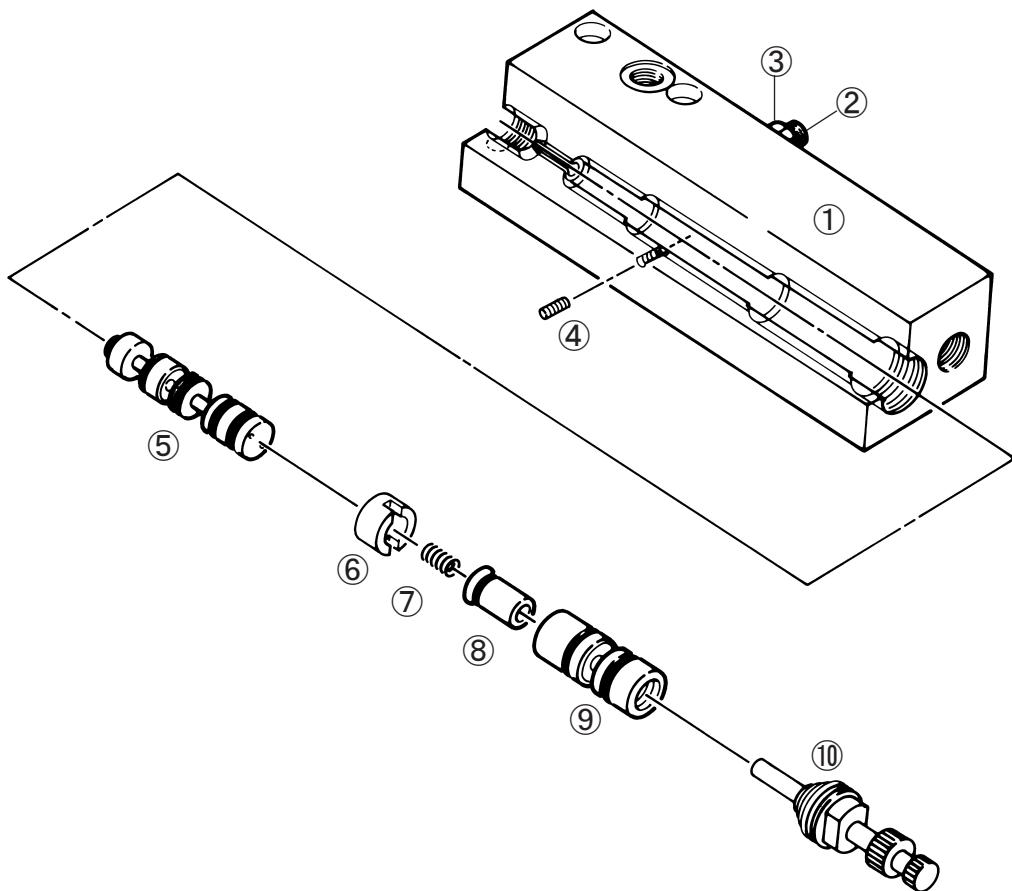
■外形図



■使用説明(◎機能、○注意事項)



■分解図



●各部名称

- ① 真空破壊バルブ本体
- ② 破壊流量調節ニードル
- ③ 固定用六角ナット
- ④ 止めねじ(M3×6)
- ⑤ ピストンAssy
- ⑥ スプリングホルダ
- ⑦ スプリング
- ⑧ クイックバルブ
- ⑨ スリーブ
- ⑩ 破壊時間調節ニードルAssy

! 注意

- * 分解や部品の交換を行う場合は、必ず電源やエアを切ってから行って下さい。
- * 分解や組立は専門の知識を有する人が行って下さい。
- * 分解・組立時部品を紛失しない様にして下さい。性能が保証されません。
- * 分解作業等を行う際には、バネ部品が飛び出す場合が考えられますので、保護メガネ等を使用して作業を行って下さい。

株式会社 妙徳

ホームページ <http://www.convum.co.jp>
E-mail faq@convum.co.jpカスタマーサポートセンター
お気軽にお問い合わせください。

0120-340095 0120-498586 0120-415641